

令和 8 年度 道徳科 学習案内

1 学習目標

道徳教育とは道徳の時間を要として、学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うものです。

- (1) 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培う。
- (2) 伝統的な文化を継承し、発展させ、更に個性豊かな文化の創造に努める人間を育成する。
- (3) 民主的な社会及び国家の形成発展に努める人間を育成する。
- (4) 平和的な国家社会の実現に貢献できる人間を育成する。
- (5) 未来を拓く主体性のある日本人を育成する。

【具体目標】

- ①心のこもった挨拶、正しい言葉遣い、時間を守ることのできる生徒の育成
- ②自分に厳しく、他人を思いやる心をもった生徒の育成
- ③清掃活動、緑化活動などに一生懸命取り組む生徒の育成
- ④自分の可能性を信じ、夢や希望をもって将来の生き方について考えることのできる生徒の育成
- ⑤地域の一員として地域の活動に積極的に参加できる生徒の育成

2 3年間の主な学習内容（指導の重点からの抜粋）

	1年	2年	3年
1 学期	A 主として自分自身に関すること ・望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする事。 ・より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。 ・自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。		
2 学期	B 主として人とかかわりに関すること ・友情の尊さを理解して心から信頼できる友達を持ち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。		
3 学期	C 主として集団や社会との関わりに関する事 ・勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。 ・父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。 ・教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚を持ち、協力し合ってよりよい校風をつくるとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。 ・郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。 ・世界の中の日本人としての自覚を持ち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。		
	D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事 ・生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。		

3 家庭での学習の進め方

- (1) 道徳の時間の話題に限らず、学校生活について家族で話す。
- (2) 家庭用「彩の国の道徳」を活用し、埼玉県の人や郷土の話題に触れる。
- (3) 冊子「私たちの道徳」を活用し、学校・家庭・地域の連携を図る。